



山口県立大学のあり方について

令和3年9月1日(水)

山口県立大学将来構想検討委員会

1 国際化への対応について

国際化教育への対応について

国際文化学部

【教育目的】 国際的視点を持ち、地域の諸課題に対応できる教養及び技能を備え、**地域の国際化、個性豊かな地域文化の振興と創造に資する人材**の育成

学部	学科	人材育成イメージ	取得可能な主な免許・資格	将来の主な活躍ステージ
国際文化	国際文化	グローバルな視点を持ち、地域文化の発展に貢献できる人材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校教諭一種（英語） ・ 中学校教諭一種（英語） ・ 司書教諭 [基礎免許必要] ・ 学芸員 ・ 司書 ・ 日本語教員 	メーカー、ホテル、金融、中・高等学校(英語教諭)、航空、学習塾、旅行、商社、NGO・NPO(地域貢献・国際貢献)、語学学校、大学院進学
	文化創造	コトバやイメージを効果的に用いた表現を身に付け、地域課題解決に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校教諭一種（国語） ・ 中学校教諭一種（国語） ・ 司書教諭 [基礎免許必要] ・ 学芸員 ・ 司書 ・ 日本語教員 	中・高等学校(国語教諭)、図書館、デザイン関連企業、アパレル企業、広告代理店、テレビ局、流通、小売、金融、出版社、日本語学校、大学院進学

学科	コース名	概要
国際文化	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>英語で読む・書く・話す・聞くの4技能</u>を習得 ・ <u>英語コミュニケーション、英語教育、英語学、英語圏文化についての学びを深め、英語を用いた思考・判断、高度で多面的な表現技術を修得</u> ・ <u>グローバル社会で活躍できる能力を身に付ける</u>
	国際文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実践的な英語・中国語・韓国語の学修を通じて、多言語・多文化社会で交流、活躍するための言語運用能力を修得</u> ・ <u>国内外の様々な地域の文化・社会についての学びを深め、世界の多様性を理解し、諸課題の解決に対応できる行動力を身に付ける</u>
文化創造	日本文化	<p><u>言語、歴史、文学等の日本文化の領域に関する学びや地域文化の魅力を実践的な活動によって提案する学びを通して、日本や地域の文化を再発見し、新しい魅力を創造的に発信していくために必要な高度な理解力と分析力を身に付ける</u></p>
	デザイン創造	<p><u>グラフィック、メディア、プロダクト、ファッション、視覚情報等の学びを通して、地域の特性に根差した新しい魅力を創造的に発信していくために必要な、デザインを中心として知識と技能に基づく企画力と発想力を身に付ける</u></p>

本学における国際化教育の特徴

- ① 日本・中国・韓国3カ国の大学で学生交流事業を実施し、本学での3週間の滞在期間には、中国・韓国から来学する20名の学生と全学科の交流を実施（グローバル学生事業）



- ② 全学生に対し1年次当初と1年次終了時にTOEIC試験を課し、成長を検証

③2019年度(令和元年度)から米国の大学とオンラインによる共同教育(COIL: Collaborative Online International Learning)を開始し、年間約80名程度が履修

- ▶ICTを用いてオンラインで海外の大学と交流を行う教育手法で、新たな国際交流の形、あるいは既存の授業科目や留学プログラムをより充実させる手段として導入
- ▶ディスカッション力とプレゼン力を鍛え、長期海外留学へ橋渡し



国際文化学科のカリキュラム (2022年～)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育	生命・生活・人生を探究する科目群/言語コミュニケーション科目群/数理・データサイエンス科目群/実践的統合教育科目群			
専門基礎科目	増補ワークショップ 儒と社 中国語文化Ⅰ 韓国語文化Ⅰ 宗教学 歴史学 文学 政治学 経済学 コミュニケーション論			
学部基幹科目	異文化文法論 国際関係論 日本文化論 生活文化論			
学科基幹科目	文化人類学 アジア文化論 欧米社会・文化論			
展開科目	英語学概論Ⅰ 国際文化実践論 実践英語Ⅰ・Ⅱ 中国語文化Ⅲ・Ⅳ 韓国語文化Ⅲ・Ⅳ 実践日本語Ⅰ・Ⅱ		アジア社会論	
	英語学概論Ⅱ アカデミック英語Ⅰ・Ⅱ		実践英語Ⅲ・Ⅳ アカデミック英語Ⅲ・Ⅳ ティベートⅠ・Ⅱ 中国語文化Ⅴ・Ⅵ 韓国語文化Ⅴ・Ⅵ	
	グローバル言語研修Ⅰ～Ⅵ グローバル文化研修Ⅰ～Ⅵ グローバル交流研修Ⅰ～Ⅳ 社会言語学			
	英語音声学 英語史 NGO・NPO論 比較政治論 国際経済論 Introduction to Buddhism Politics of Japan Yamaguchi and the World Japanese Modern Society Japanese Modern Culture 日本語教育入門 言語学概論		英米文学 英米文学史 イギリス文学講義Ⅰ・Ⅱ アメリカ文学講義Ⅰ・Ⅱ Teaching English as a Foreign Language 外交史 応用論理学 メディア文化論 Japanese Economy and Globalization Media and Communication in Japan 中国文学 中国文学史	
実践的統合教育科目	プロジェクト演習Ⅰ		プロジェクト演習Ⅱ 専門演習Ⅰ・Ⅱ	卒業演習Ⅰ・Ⅱ
関連科目	検定英語Ⅰ～Ⅲ 検定中国語Ⅰ～Ⅲ 検定韓国語Ⅰ～Ⅲ			
	図書館概論 図書館情報資源概論		第二言語習得論 民俗文化論 美術史概論 スペイン語Ⅰ・Ⅱ	
教育の基礎的理解に関する科目等	図書館教育実践演習 検定日本語教育		日本語教授法 日本史学概論 観光まちづくり論	
	特別支援教育 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育相談			
各教科の指導法(指導要領及び教材の活用を含む)	英語科教育法Ⅰ		英語科教育法Ⅱ～Ⅳ	
司書に関する専門科目	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ 情報資源組織論 情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱ 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史		図書館実習	
司書教諭に関する専門科目	学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用			
学芸員に関する専門科目	博物館経営論 博物館教育論			
	博物館学内実習Ⅰ		博物館学内実習Ⅱ 博物館実習	
日本語教員に関する専門科目	博物館概論		博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論	
	博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論		日本語教育評価法	
			日本語教材・教具論 日本語教育実習	

※新カリキュラムに対応するため、今後変更となる可能性があります。

文化創造学科のカリキュラム (2022年～)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基盤教育	生命・生活・人生を探究する科目群/言語コミュニケーション科目群/数理・データサイエンス科目群/実践的統合教育科目群			
専門基礎科目	社会学ワークショップ 情報と社会 中国語文化I・II 韓国語文化I・II 宗教学 歴史学 文学 政治学 経済学 コミュニケーション論			
学部基幹科目	異文化交流論 国際関係論 日本文化論 生活文化論			
学科基幹科目	文化創造論 地域文化論 芸能文化論 デザイン文化論 プレゼンテーション演習 文化創造ワークショップ			
展開科目			日本史学概論 日本語学概論 日本文学概論 企画・創造論 メディア表現論 地域デザイン論	
			CG実習 日本文化実習I・II 日本文学講読I(中古) 日本文学講読II(中世) 日本文学講読III(近世) 日本文学講読IV(近代) デザイン概論 デザインI(描写) デザインII(平面) デザインIII(立体) デザインIV(造形) 地域デザイン実習	
	民俗文化論 近世文芸論 文芸創作論 美術史概論 色彩表現論 写真概論 視覚情報論 服飾文化論 工芸制作論			
実践的統合教育科目	プロジェク演習I		プロジェク演習II 専門演習I・II 卒業演習I・II	
	検定英語I～IV			
関連科目	書道 美術			
			社会言語学	
	アジア文化論 欧米社会・文化論 図書館概論 図書館情報資源概論 博物館概論		メディア文化論	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理 教職論 教育社会学 教育心理学 教育方法・教育課程論		アジア社会論 言語学概論 日本語教育入門	
	特別支援教育			
			道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育相談	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法I		国語科教育法II～IV	
			図書館実習	
司書に関する専門科目	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習I・II 情報資源組織論 情報資源組織演習I・II 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史			
司書教諭に関する専門科目	学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用			
学芸員に関する専門科目	博物館経営論 博物館教育論			
	博物館学内実習I		博物館学内実習II 博物館実習	
日本語教員に関する専門科目	博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論		第二言語習得論	
			日本語教授法 日本語教育評価法	
他学科の授業科目	日本語教材・教具論 日本語教育実習 日本語教育実践演習 検定日本語教育			
教科に関する科目	中国文学 中国文学史 ※いずれも国際文化学科開講科目			

県内高校との連携

令和3年7月

学生9名が県立華陵高等学校で英語の模擬授業を実施

- ・教育実習は原則4年次で行うが、教育連携により3年次に実施
- ・華陵高校の英語科出身者2名も参加



➤ 県立華陵高等学校との教育連携事業に関する協定(H24年12月)

(高大連携事業の内容)

- ①外国語教育に係る高大接続の在り方に関する調査研究
- ②県立大学教員、華陵高校教員による双方特別講義の実施
- ③県立大学での高校生講座等への華陵高校生徒の参加
- ④華陵高校での県立大学学生の模擬授業等の実施
- ⑤その他高大連携事業の目的を達成するために必要と認められる事業

周防大島町及び県立周防大島高等学校（令和3年4月）

- [連携・協力事項]
- ・ 地域づくり・文化振興に関すること
 - ・ 人材育成・教育に関すること
 - ・ 国際交流推進に関すること

⇒ 周防大島高等学校「アロハプロジェクト」

ハワイ移民の歴史やハワイ交流という地域特性を活かし、本年3月からオリジナルのアロハシャツ製作に取り組む

⇒ 周防大島高等学校は、国連教育科学文化機関（UNESCO）が管轄するユネスコスクールに加盟し、国際理解教育や環境教育を推進しており、今後、国際交流行事等で連携



本学の留学等の状況について

学術交流協定校・覚書締結校

世界6か国8つの学術交流協定大学と交換留学を実施



留学形態

<派遣>

○交換留学

- ・約1年間、学術交流協定校
- ・派遣期間は在学期間に含まれ単位認定。4年間で卒業

○日本語ティーチングアシスタント (TA)

- ・学術交流協定校一部
- ・現地日本語教員の指導を受けながら授業や課外活動の運営を補佐
- ・日本語教員を目指す学生対象のプログラム
- ・派遣期間中は休学が必要

○私費留学 (休学)

○海外語学・文化研修

- ・春・夏休み中に2～4週間程度の短期間

<受入>

○交換留学

- ・約6ヶ月～1年間、学術交流協定校
- ・本学宿舎を利用
- ・地域交流プログラムに参加

○長期留学

- ・外国人留学生特別選抜で入学

※長期留学は基本的に私費留学

海外への留学実績①

交換留学派遣実績

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	1	1	3	3	3	3	3	4	4	
カナダ	3	2	4	5	3	3	4	3	3	
フィンランド	3	2	1	3	3	1	2	3		
スペイン	1	1	2	3		3	3	1	3	
中国	3	4	3	4	2	5	2	4	5	
韓国	2	2	2	3	5	6	4	5	4	3
計	13	12	15	21	16	21	18	20	19	3

日本語TA・私費留学（休学）実績

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	1(TA)			1(TA)				1(TA)		
カナダ	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	1(TA)	
中国	3	1		1(TA)	1(TA)	1(TA)				
韓国		3								
計	5	5	1	3	2	2	1	2	1	

海外への留学実績②

海外語学・文化研修派遣実績

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ							12		5	
カナダ	10	11	9	20	12	9				
オーストラリア				15	16	20	22	20	14	
中国	9	12	6		7	6	6	5	6	
韓国	10	12	10		7	12	8	10	10	
シンガポール				10	16	22	10	10	17	
フィリピン	15	13								
計	44	48	25	45	58	69	58	45	52	

学科別実績 (交換留学 + 日本語TA・私費留学 + 海外語学・文化研修)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
国際文化学科	54	52	37	54	66	78	57	60	57	3
文化創造学科	3	3	1	4	5	5	3		4	
社会福祉学科	1	4		8	2	2	3	2	3	
看護学科	1	4	2	1	1	4	5	2	3	
栄養学科	3	1	1	2	2	2	9	2	5	
国際文化学研究科		1				1		1		
計	62	65	41	69	76	92	77	67	72	3

留学生の受入状況①

交換留学生の受入実績

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
中国	6	6	4	5	6	7	8	9	8	3
韓国	2	3	2	3	6	2	3	3	2	
北米	6	8	15	13	7	9	15	12	9	
欧州	4	5	3	3			1	2		
合計	18	22	24	24	19	18	27	26	19	3

学科内訳

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
国際文化学科	13	18	22	23	19	16	25	24	14	2
文化創造学科	4	3	2			2	2	2	5	1
社会福祉学科		1		1						
国際文化学研究科	1									

留学生の受入状況②

長期留学生の受入実績

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
中国	18	15	17	18	14	13	12	12	15	14
韓国	1	5	6	7	7	7	5	6	6	7
その他アジア									2	2
北米							1			
欧州		1	1	1	1	1				
合計	19	21	24	26	22	21	18	18	23	23

学科内訳

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
国際文化学科	8	14	15	13	12	9	6	7	10	10
文化創造学科		1	1	2	2	1	2	3	4	4
社会福祉学科				1	2	2	2	2	1	1
国際文化学研究科	8	4	5	7	4	7	6	3	4	5
健康福祉学研究科	3	2	3	3	2	2	2	3	4	3

県内の国際化の状況について

山口県の貿易概況等

- 山口県貿易統計によると、山口県を管轄する税関支署等の通関額に基づく輸出入については、地域別では「アジア」が大きなウェイトを占める

【輸出】 地域別構成比：アジア64.5%、北米15.5%、西欧7.4%

国別構成比：韓国30.6%、中国18.0%、アメリカ13.0%

【輸入】 地域別構成比：アジア40.5%、中東29.9%、大洋州14.9%

国別構成比：韓国14.6%、中国14.4%、サウジアラビア13.8%

- 近年の県内非上場企業による海外展開では、経済成長が続くASEAN地域（インドネシア、シンガポール、マレーシア等）や中国が進出先となっており、今後もASEAN地域を中心とした中堅・中小企業の海外展開が期待

山口県の外国人宿泊者・観光客の動向

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う渡航制限等により大幅に減少する以前の令和元年における本県の観光客等の動向を見ると、市場別外国人延べ宿泊者数では、韓国が最も多く、次いで台湾、米国、中国(本土)の順。

【外国人延べ宿泊者数】

韓国：28,750人（構成比28.2%）、台湾：17,110人（16.8%）、
米国：16,010人（15.7%）、中国(本土)：12,700人（12.5%）

- ・市場別外国人観光客数では、中国(本土)が最も多く、次いで韓国、台湾、米国の順。

【外国人観光客数】

中国(本土)：84,955人（構成比23.8%）、韓国：82,790人（23.2%）、
台湾：62,858人（17.6%）、米国：24,559人（6.9%）

市区町村別 在留外国人数

市町	H27.12	R2.12	5年間の増減	5年間の増加割合	構成割合
山口県	13,875	17,279	+3,404	24.5%	100.0%
下関市	4,062	4,519	+457	11.3%	26.2%
宇部市	1,907	2,174	+267	14.0%	12.6%
山口市	1,262	1,874	+612	48.5%	10.8%
萩市	412	409	△3	△0.7%	2.4%
防府市	919	1,323	+404	44.0%	7.7%
下松市	471	709	+238	50.5%	4.1%
岩国市	1,625	2,080	+455	28.0%	12.0%
光市	303	458	+155	51.2%	2.7%
長門市	340	487	+147	43.2%	2.8%
柳井市	135	197	+62	45.9%	1.1%
美祢市	169	233	+64	37.9%	1.3%
周南市	1,271	1,657	+386	30.4%	9.6%
山陽小野田市	659	768	+109	16.5%	4.4%
周防大島町	94	107	+13	13.8%	0.6%
和木町	89	91	+2	2.2%	0.5%
上関町	3	5	+2	66.7%	0.0%
田布施町	62	70	+8	12.9%	0.4%
平生町	61	90	+29	47.5%	0.5%
阿武町	31	28	△3	△9.7%	0.2%

出展：在留外国人統計（出入国在留管理庁）

山口県における在留外国人数の変遷 (H27.12⇒R2.12)

区分	H27.12	R2.12	5年間の増減
総数	13,875	17,279	+3,404
うち韓国・朝鮮	6,406	5,392	△1,014
韓国	5,572	4,744	△828
ベトナム	1,269	4,610	+3,341
中国	3,256	2,663	△593
フィリピン	1,203	1,513	+310
朝鮮	834	648	△186
インドネシア	279	604	+325
ネパール	163	458	+295
米国	328	370	+42
ブラジル	97	191	+94
カンボジア	21	181	+160
タイ	115	166	+51
ミャンマー	22	155	+133
台湾	123	135	+12
スリランカ	7	113	+106

出展：在留外国人統計（出入国在留管理庁）

県内大学の取組事例について

県内他大学の国際関連学部①

山口大学 国際総合科学部（2015年開設）

- 文理の枠を越えた幅広い知識を持ち、日本語・英語をツールとした高いコミュニケーション能力とデザイン科学による課題解決能力を持つグローバル・スペシャリストを養成
- 1年間の海外留学で国際感覚や異文化理解力を身に付け、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、コミュニケーション能力と共働力を育成
- 企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛える

《カリキュラムの特色》 留学、リベラルアーツ、デザイン科学、
プロジェクト型課題解決研究（PBL）

※1年次夏季休業中にフィリピンへ1ヶ月の語学研修。2年次の後期から1年間海外留学。

※4年次に卒業論文演習の代わりに「プロジェクト型課題解決研究」に1年間取り組む

県内他大学の国際関連学部②

梅光学院大学 文学部人文学科

- ①国際教養専攻 (2022年開設予定)
- ②英語コミュニケーション専攻
- ③国際ビジネスコミュニケーション専攻
- ④東アジア言語文化専攻 (中国語コース・韓国語コース)

① 国際教養専攻（2022年開設予定）

海外留学（1年間）とサービスラーニング（半年間）の両方が必修

- SDGsをはじめとする社会課題を達成するために必要な解決方法を探究
- 学問分野を横断し、様々なアプローチから解決方法を探り、課題解決ツールとして外国語（英語）の運用能力を高める
- 海外留学や国内・海外でのサービス・ラーニングを通して、社会に通用する思考やスキルを身につける

目標とする資格・免許

- TOEIC860点以上
- 日本語教員養成課程修了認定（梅光学院大学）

② 英語コミュニケーション専攻

入学当初の集中英語講座から2年次の全員留学、3年次以降に選択履修する専門科目まで、全ての学びが英語のスペシャリスト養成に結びつく内容

- 1年間の全員留学を含む3段階留学プログラム
- 教職課程履修により、中学校・高等学校教諭免許状(英語)を取得可能

目標とする資格・免許

- TOEIC860点以上
- 中学校教諭一種免許状（英語）
- 高等学校教諭一種免許状（英語）
- 日本語教員養成課程修了認定（梅光学院大学） 等

③国際ビジネスコミュニケーション専攻

世界で通用するビジネスパーソンを目指し、高度な英語運用能力やビジネスマナーを身につける

○エアライン・ホテル就職に強い専攻

○英語力を伸ばす3段階の留学制度で生きた英語を身につけ、海外でのビジネス実習などを通して国際ビジネスの知識と経験を修得

○卒業までにビジネス即戦力レベルのTOEIC730点以上を目指す

目標とする資格・免許

●TOEIC730点以上 ●日本語教員養成課程修了認定（梅光学院大学）等

④東アジア言語文化専攻（中国語コース・韓国語コース）

中国語・韓国語の言語運用能力と異文化理解力を身に付ける

○中国語と韓国語のそれぞれに3段階の海外留学制度を用意

※中国語コース：1年間、韓国語コース：半年間の留学は必須

○中国語コース2年次～3年次の2年間で中国の青島大学へ留学し、所定の基準を満たした学生は、梅光、青島大学の2つの学位が取得可

○卒業までに即戦力レベルの中国語検定(HSK)6級、もしくは韓国語能力試験(TOPIK)6級合格を目指す

目標とする資格・免許

●中国語検定(HSK)6級 ●韓国語能力試験(TOPIK)6級

●日本語教員養成課程修了認定（梅光学院大学）等

国際文化学部就職状況について

国際文化学科就職先（過去2年間）

【建設】 光東／坂井建設／サクセス／時盛建設／ピースホーム

【製造】 あさひ製菓／SCREEN JAPAN／滝澤鉄工所／トーフレ／凸版印刷

【卸売・小売】 アイ・エイチ・ジェイ／今井書店／エディオン／近鉄リテーリング／興陽電機／ジーンズ／ストライプインターナショナルグリーンパークス／セキミキ・グループ／静鉄ストア／トヨタカローラ福井／トヨタカローラ山口／トライアルグループ／広島トヨタ自動車／弘法／勉強堂／ユアーズ／良品計画／ミッドフォー／ロフト／ロイヤルホームセンター／不二貿易／一畑百貨店／パル／大黒天物産／WORK S MILE LABO

【金融・保険】 NHS／山陰合同銀行／中国銀行／福岡信用金庫／十八親和銀行／萩山口信用金庫／三菱UFJ銀行／メットライフ生命保険／山口フィナンシャルグループ／楽天カード

【不動産・運輸・通信】 ANAエアサービス松山／ANA大阪空港／アルプス物流／関光汽船／九州旅客鉄道／コミュニティワン／菅原汽船／全日本空輸／東電物流／東ソー物流／西日本旅客鉄道／日本航空／備後通運／ワウハウス

【マスコミ・出版・広告】 アイティフォー／T.H.I.R.／テラスカイ／トラスト／フェイスグループ／富士通山口情報／三谷コンピュータ／ミロク情報サービス／ワイ・ディ・シー

【サービス】 あきんどスシロー／アクティブ・オペレーションズ／アネムホールディングス／エヌティーエー旅行／SBCメディカルグループ／熊本ホテルキャッスル／COUXU／サイゼリヤ／下関市立市民病院／進和学園／JTB／住友不動産ヴィラフォンテーヌ／創価学会本部／つなぎ／ティーアンドイー／TBCグループ／ディーエイチシー唐津シーサイドホテル事業部／ニュートン／NIPPON ACADEMY／ビジネスアシスト／ブレインズ／ファーストスタジオ／マーキュリー／康徳会西宮SHUHEI美容クリニック／ライクスタッフィング／ルートイングループ／ルック／ロイヤルコーポレーション／ロイヤルホールディングス

【公務員】 大分県職／島根県警察／新宮市職／美祢社会復帰促進センター／美祢市職／宮崎県警察／山口県職

【教員】 広島県立福山工業高等学校／益田日本語学院／山口県立豊浦高等学校／山口県立防府高等学校

文化創造学科就職先（過去2年間）

【建設】池田建設／セキスイハイム中四国／時盛建設／ネストハウス／大和リース

【製造】アイ企画／あさひ製菓／宇部蒲鉾／NJコンポーネント／大村印刷／お菓子の香梅／サンコウ／三松／豆子郎／唐十／日経印刷／ニヨド印刷／農水フーズ／八天堂／マルニ／洛陽織物

【卸売・小売】安住商事／アデリー／アトリエカオル／いちのみや薬局グループ／ACN／エディオン／小野／九州ケーズデンキ／弘法／コスモス薬品／大黒天物産／玉井歯科商店／トヨタカローラ山口／トライアルカンパニー／ナフコ／nagomi-style／ハローズ／ブンシジャパン／マイライフ／丸久／ミツボシコーポレーション／メガネトップ

【金融・保険】愛媛銀行／岡藤商事／西日本シティ銀行／広島市信用金庫

【不動産・運輸・通信】アンサー倶楽部／池田建設／エステートプラン／東ソー物流／中原興業／西日本旅客鉄道／フォーシーズ

【マスコミ・出版・広告】アンドアイ／FM愛媛／スイッチボックス／大新技研／ティ・ワイ・エスビジョン／ディレクターズ東京／DNS／トーハン・コンピュータ・サービス／フォーサイトシステム／まつだ企画／ミッドフォー／monoAI technology

【サービス】アウトソーシングテクノロジー／アスピカ／AWOMB／イワイ／グリーンズ／神戸設計ルーム／コープ葬祭／サントリーパブリシティサービス／市民活動さぼーとねっと／周南地域地場産業振興センター／新英コアテクニカ／生活協同組合コープやまぐち／大宰府天満宮／DERESI／中の坊／HAT／姫路市社会福祉事業団／フジカラー広島中央／宮崎観光ホテル

【公務員】長崎市職／萩市職／山口県警察

【教員】長門高等学校／三田尻学園誠英高等学校

卒業生紹介

県内で活躍①

テレビニュースを通して

山口県の情報や魅力を発信

大学在籍時は、主にデザインを勉強していました。講義では、自分がデザインしたものを相手にどう使ってもらいたいのか、またはそれを見てどう感じてほしいのか、というのを考えながら作品を作ることの大切さを学びました。現在の仕事でも、ただある情報を伝えるだけでなく、視聴者が何を知りたいのかということや、視聴者にどのようなことを伝えたいのかということを考え、正確でわかりやすい番組を作ることを心がけています。

今後もニュースを通して県内の情報や魅力を発信していけるよう精進していきたいです。



藤本 有佑子さん Fujimoto Yuuko

国際文化学部 文化創造学科
2019年3月卒業

GRADUATE

02

勤務先

富士商株式会社

仕事内容

● 総合商社(カーライフ事業、物流事業、エネルギー事業など)での営業

私は卒業後、山口県に本社を構える総合商社に入社しました。入社した理由は、多種多様な事業があり、ジョブローテーション制度を導入しているため様々な経験と知識を得られると思ったからです。現在は、営業の勉強期間として店舗での接客を行っています。

在学中は韓国語を専攻とし、日韓交流事業の運営、海外留学、ボランティア、アルバイト、サークル活動など様々な事に取り組みました。今後の展望としては、在学中に培った経験と知識を活かして新しい情報をどんどん発信していき、地域の活性化に貢献していきたいです。



山根 菜奈美さん Yamane Nanami

国際文化学部 国際文化学科
2019年3月卒業

国際文化学科

県内で活躍②



中所 佑子さん Nakajo Yuko

国際文化学部 文化創造学科
2012年3月卒業

文化創造学科



学生時代に

最も力を入れたことは…

中原中也の詩を通して地域の方と交流する企画や、山口篤流狂言についての情報を伝える企画など、山口の文化が持つ魅力を発信する活動に力を入れて取り組みました。これらの活動を通して、自分自身も文化への理解を深めることができ、新しいことに挑戦する力や主体的に行動する力を身につけることができたと感じています。

今1番頑張っていることは？
卒論！

江村 香苗さん Emura Kanae
国際文化学部 文化創造学科
山口県立山口中央高等学校出身

内定先 大村印刷株式会社
職 種 営業職

文化創造学科

GRADUATE

勤務先

山口県桜ヶ丘高等学校

03

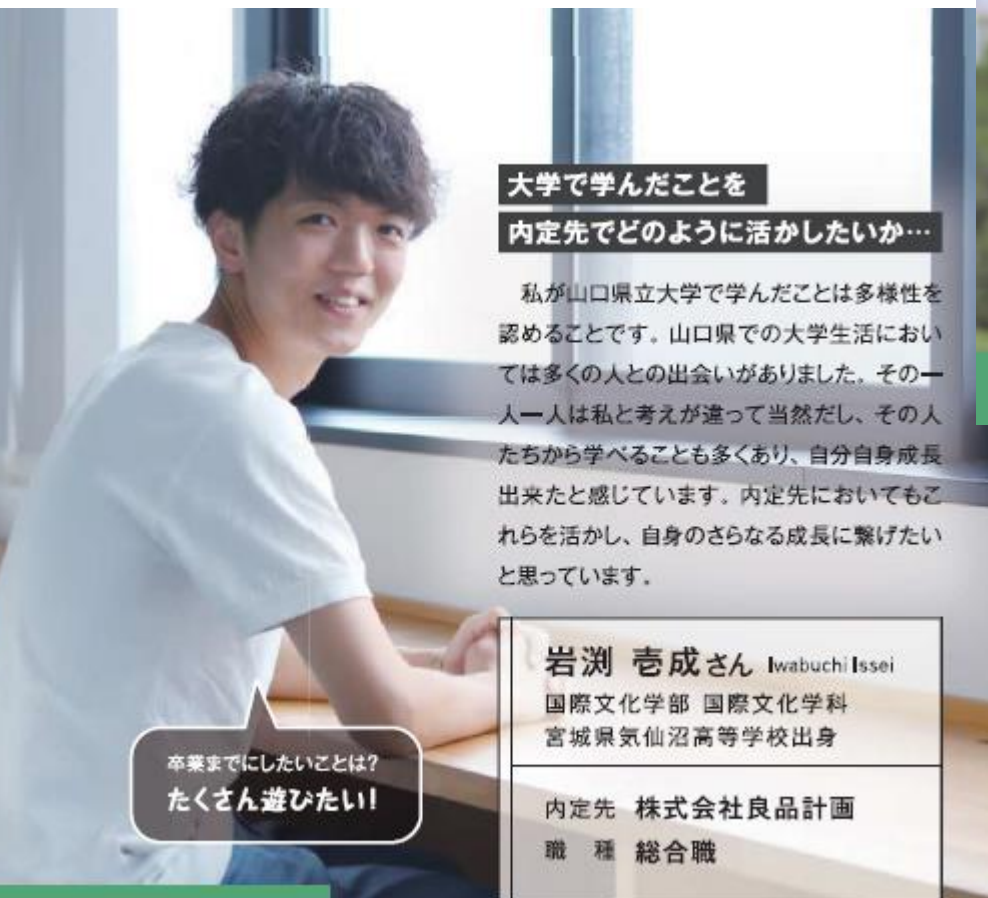
仕事内容

- 国語科の担当教員
- 普通科(キャリアコース)3年生の担任
- 吹奏楽部の顧問

私は、文化創造学科での四年間を通して、教師になるための知識だけではなく、多くの方と出会い、交流を持つ経験をさせていただきました。

現在、私は、山口県桜ヶ丘高等学校で国語の教師をしています。憧れていた教師になることができ、勉強の毎日です。生徒一人ひとりの考え方は異なっており、対応の仕方は十人十色ですが、生徒たちの高校生活が実りあるものになるかどうかは私たち教師にかかっています。全ての出会いに感謝できる生徒を一人でも多く卒業させることができるように毎日を過ごしていきたいです。

他県で活躍①



大学で学んだことを

内定先でどのように活かしたいか…

私が山口県立大学で学んだことは多様性を認めることです。山口県での大学生活においては多くの人との出会いがありました。その一人一人は私と考えが違って当然だし、その人たちから学べることも多くあり、自分自身成長出来たと感じています。内定先においてもこれらを活かし、自身のさらなる成長に繋がりたいと思っています。

岩渕 壱成さん Iwabuchi Issei

国際文化学部 国際文化学科
宮城県気仙沼高等学校出身

内定先 株式会社良品計画
職種 総合職

卒業までにしたいことは？
たくさん遊びたい!

国際文化学科



大学の経験で

就職活動に活かしたことは…

自分のやりたいこと、興味のあることは何でも挑戦することです。私は異文化交流に興味があり、大学で留学することが一つの目標でもありました。交換留学を通して様々な経験をすることで、自分の道が定まっていたように思います。新しい経験は、自分の可能性と行動・選択範囲も広がるスパイスになると思っています!

入社後の目標は?

語学を今以上に磨き、
国籍関係なく、日本の
おもてなしの魅力を
発信できる客室乗務員
になります!

岡本 望希さん Okamoto Miki

国際文化学部 国際文化学科
愛媛県立松山中央高等学校出身

内定先 日本航空株式会社
職種 客室乗務職

国際文化学科

他県で活躍②

GRADUATE

02

勤務先

国立大学法人 岡山大学
全学教育・学生支援機構
基幹教育センター

仕事内容

- 日本語教育部門 准教授
- 留学生への日本語教育
- 日本語教員養成
- 留学生プログラム・国際交流関係の業務
- 第二言語習得に関する研究



末繁 美和さん Sueshige Miwa

国際文化学部 国際文化学科
2006年3月卒業

国際文化学科



大学生活と就職活動を両立する
うえで大切にしていたことは…

先を考えて行動する事です。好きな事はもちろんですが、そうではない事も、私は機会があればチャレンジしてきました。その一つ一つの経験が、自分を形作り、面接試験で話せるだけでなく、自分自身を知るきっかけにもなりました。今はわからなくても、小さな出来事が将来に繋がります。今を大切にいろいろなことに向き合ってみてください。

県大で4年間を過ごした感想は？
山口県民との学びと交流！

鈴木 沙江さん Suzuki Sae
国際文化学部 文化創造学科
宮城県気仙沼高等学校出身

内定先 サントリーバブリティ
サービス株式会社
職種 総合職

文化創造学科

国際文化学科の日本語および英語教員養成課程で、フィールドワークや実習を通して、主体的に問題を見つけ、分析し、多くの人と協働して答えのない問題にどうアプローチしていくかを学びました。

現在は、岡山大学で日本語教育および教員養成に携わっていますが、大学時代に得た知識や経験は、教員および研究者としての私の基礎になっています。Eタンデムの教材開発や日本語教員養成プログラム開発等の研究を行っており、今後も実践と研究を積み重ね、新たな教育のあり方を模索し続けたいと思っています。

デザイン志向の練磨

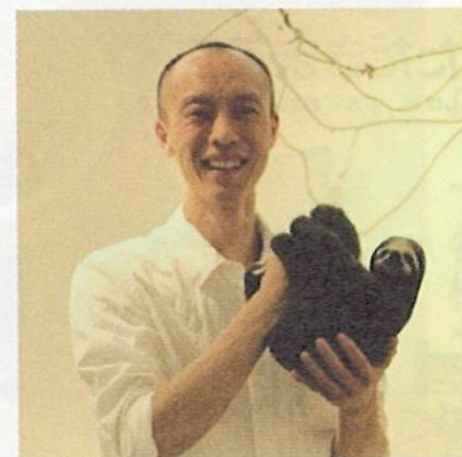
大田 舞 (ファッション・デザイナー) : フィンランドのマリメッコ



表紙作家

旅する羊毛 — 郭伝灝(羊毛造形作家)

中国北京市生まれ。2002年来日。山口市阿東在住。2度自転車で日本一周をし、旅先の知床で出会ったヒグマ親子の姿に魅せられる。以来動物たちの世界をもっと多くの人に伝えたいと、羊毛造形作家として羊毛のみで野生動物を制作している。 [facebookページ](#) >> 旅する羊毛



メイド・イン・ヤマグチの 再発見・創造・発信

ファッションクリエイトCHIZE
武永 佳奈氏

山口市徳地の古民家再生事業に参加。徳地和紙を使ったコサージュなど地域資源とデザインを掛け合わせた新しいスタイルを提案



竹部 徳真氏

市内にアトリエを構え、国内外で活躍する木工作家。山口県木のアカマツの大径を素材として独自のロクロ技術で2～3ミリまで削り、照明器具を作成。第7回やまぐち新進アーティスト大賞受賞。経産省主催の「ザ・ワンダー500」に選出。ミラノ万博や、フィンランド、フロリダ、ニューヨークなどの世界各地に出展。顧客には世界の要人もいる。





有限会社 ナルナセバ

2002年3月、山口県立大学発のベンチャー企業として誕生。歴代の代表取締役は、現役の大学生・院生が務める。モンペッコは、「農作業時でもオシャレに」をコンセプトに「もんぺ」を現代のライフスタイルに寄り添って改良した。

片山 涼子氏 (アトリエa.p.r)

大殿大路に古民家を再生したアトリエ兼ショップを開業。着物リメイク等の一点もの商品、アクセサリーの販売の他地域活性化につながる衣装デザイン制作も。

国際化に関する検討の視点

- グローバル、グローカル、インターローカルなど「国際」の考え方や地域貢献型大学としての国際化、多文化共生社会への対応
- 県内の外国人の増加等も踏まえた県立大学としての外国語教育等に関する方向性
- オンラインの積極的な活用も含めた、海外の大学との提携や留学等のあり方

等

2 デジタル化への対応について

現在のデジタル関連の教育研究について

基盤教育（全学共通）〔2022年度～〕

1994年から基盤教育で「情報と社会」「コンピューター・リテラシーⅠ」「コンピューター・リテラシーⅡ」を必修化（4単位）

- ・2022年からは「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」を踏まえ、**データサイエンス科目群**において6単位へ強化
- ・2022年「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」申請予定

▶ **データサイエンス科目群**

基礎的なデータリテラシーを身につけ、地域の複合的な諸課題を解決するために、データを価値あるものに変えるデータ処理方法や統計の扱い方を学習する科目から構成

人文系DX人材の可能性

デザイン活動

Digital Humanities for Arts and Cultures:
デジタルヒューマニティーズ：文化情報学

Graphic (グラフィック)

地域文化や事業特性から訴求点を見出し、パンフレットデザインやシンボルマーク等に抽象化して表現。共同作業をとおして、地域情報の発信を支援している。



Media (メディア)

メディアの持つ様々な領域・機能（写真、映像、Web、GISなど）の組み合わせを設計し、研究・制作に取り組んでいる。



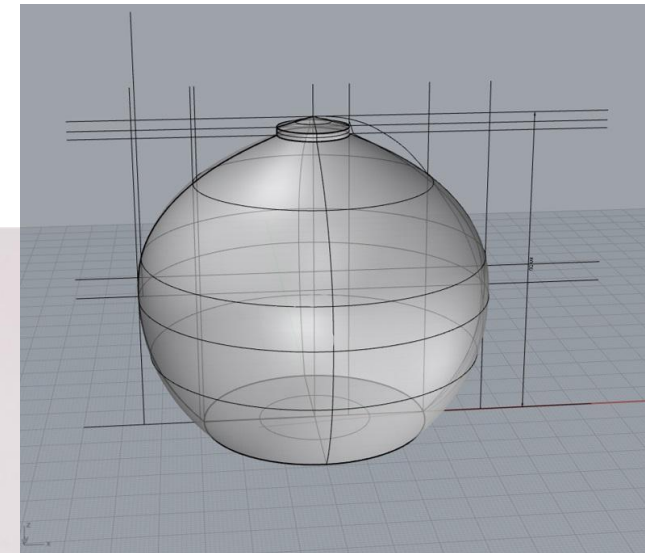
〔事例紹介〕 大内漆器における産業振興と 伝統継承

一次の100年へ向けたブランディングー

国際文化科学研究科国際文化学専攻長 教授 山口 光

大内人形マトリョーシカ

曖昧であった大内人形の形状を測定・データ化（図面化）し、デジタル加工の可能性を広げた。このことにより、機械加工による入れ子状の大内人形を開発。職人による絵柄で仕上げ、大内漆器の「装飾性」を尊重した。



〔事例紹介〕 ヒトの色知覚を考慮した均等色空間における明度強調法の開発

文化創造学科准教授 畔津 忠博

研究概要

背景

明度の十分でない画像に対する画像強調

画像の明度強調を行うときに、ヒトの色知覚を考慮するために均等色空間を利用する。これにより、高品質な画像強調の実現を目指す。

内容

CIELAB色空間における画像強調法の考案

均等色空間である CIELAB 色空間において明度を強調し、強調画像を RGB 色空間に逆変換する際、色域を保证するために彩度を調整パラメータとする方法を考案した。

結果

画質の向上を確認

提案手法により適切に明度が強調される画像が得られた。さらに色相保存、色域保証を定量的に確認した。

CIELAB色空間における色相保存とRGB色空間逆変換時の色域保証

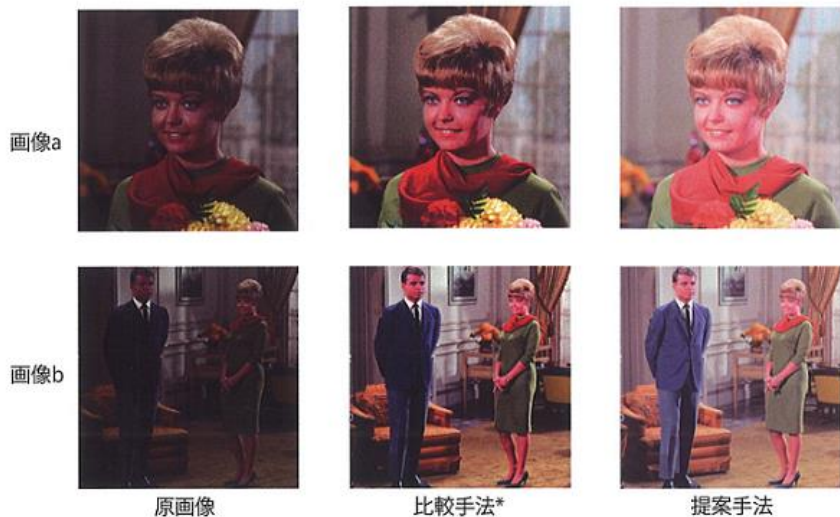


図1.実験結果

応用・展開例

- ・ ヒトの知覚を考慮した画像強調
- ・ 高品質な明度強調
- ・ 均等色空間における色相保存

表1. 色相のずれ $|\Delta h|$

		比較手法	提案手法
画像 a	平均値	1.540	0.045
	標準偏差	6.226	0.075
画像 b	平均値	0.215	0.034
	標準偏差	1.941	0.058

$$|\Delta h| = \begin{cases} |h_e - h_o| & |h_e - h_o| \leq 180^\circ \\ 360^\circ - |h_e - h_o| & \text{otherwise} \end{cases}$$

h_e : 強調後の色相, h_o : 原画像の色相

* Nikolova, M., Steidl, G., "Fast hue and range preserving histogram specification: theory and new algorithms for color image enhancement," IEEE Trans. Image Process. 23(9), pp.4087-4100, 2014.

GISによる地域資源の活用

防府市との共同研究は、建物・風景など地域に残していきたい「景観資源」を見つけて、マップデータとして整理・活用することを目指すもの

事例4 周防国府に関する包括的研究



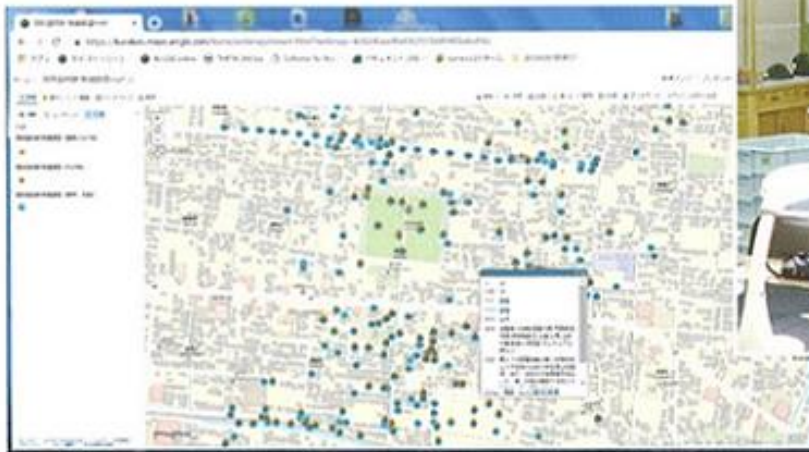
地域づくり

国際文化学部文化創造学科 国際文化学研究科 渡邊 滋、倉田 研治



周防国府は大化の改新以降、全国に60余り設置された古代の役所の一つで、防府市の歴史資産として重要な価値を持ちます。今回の研究では、これまで膨大に積み上げられてきた関連研究や発掘成果などの情報について、関連研究者との共同研究

を通じて分析を進め、GIS(地理情報システム)技術を用いて地図上に可視化したデータベースを構築することにより今後の研究への礎を築きました。将来的に、周防国府を軸とした観光などによる防府の地域振興への寄与が期待できます。



GIS技術を用いたデータベース



佐藤信(東京大学名誉教授)・
鐘江宏之(学習院大学教授)・
加藤友康(東京大学名誉教授)
らとの共同研究の様子

デジタル人材の育成に向けた大学等の取組

大学での情報処理技術者試験の活用

ITパスポート試験 / 基本情報技術者試験 / 応用情報技術者試験 / 情報セキュリティマネジメント試験の取得による単位認定や対策講座、受験の推奨等を実施

2. 大学における活用

多くの大学で情報処理技術者試験が活用されています。

2018年3月14日更新（以降随時更新）

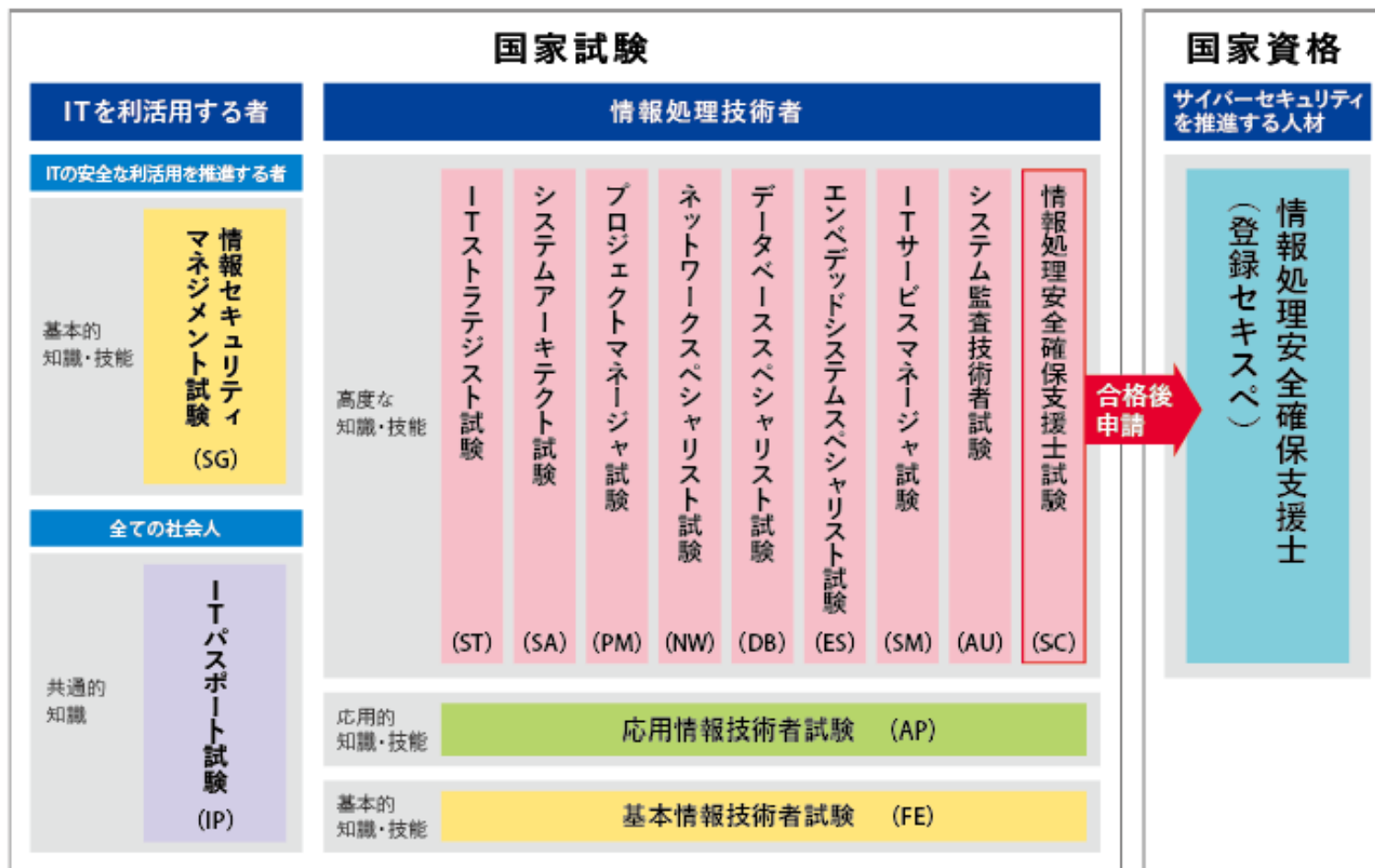
活用内容	大学数
情報処理技術者試験を活用している大学・短大	361校
入試優遇	240校
単位認定	125校
シラパスの一部又は全部を参考とした授業カリキュラムの策定	87校
受験対策支援講座の実施	154校
受験を推奨（受験料補助、合格者の表彰、報奨金等支給）	137校

本資料は、各大学へのアンケート調査の結果、ご回答いただいた内容を基に、当機構にて概要をまとめたものです。（2017年11月～2018年2月調べ）

（注）最新の情報、詳細につきましては、各大学の募集要項や授業のカリキュラムなどをご確認くださいませよう、お願いいたします。

【参考】 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

現行の試験制度（平成29年度春期から）



出典・引用：独立行政法人 情報処理推進機構WEBページ

統合イノベーション戦略推進会議決定

「A I 戦略2019」(令和元年6月)

■教育改革

デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・A I」に関する知識・技能、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力など、持続可能な社会の創り手として必要な力を全ての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指し、2025年の実現を念頭に今後の教育に以下の目標を設定

①リテラシー教育

- ・ 文理を問わず、全ての大学・高専生(約50万人卒/年)が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得
- ・ 大学生、社会人に対するリベラルアーツ教育の充実(一面的なデータ解析の結果やA Iを鵜呑みにしないための批判的思考力の養成も含む)

②応用基礎教育

- ・ 文理を問わず、一定規模の大学・高専生(約25万人卒/年)が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・A Iの応用基礎力を習得

■社会実装の優先5領域

- ①健康・医療・介護
- ②農業
- ③国土強靱化
- ④交通インフラ・物流
- ⑤地方創生

教育改革に向けた主な取り組み

デジタル社会の「**読み・書き・そろばん**」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍

主な取組

育成目標【2025年】

エキスパート

先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備

- 若手の自由な研究と海外挑戦の機会を拡充
- 実課題をAIで発見・解決する学習中心の課題解決型AI人材育成

応用基礎

AI応用力の習得

- AI×専門分野のダブルメジャーの促進
- AIで地域課題等の解決ができる人材育成 (産学連携)

認定制度・資格の活用

- 大学等の優れた教育プログラムを政府が認定する制度構築
- 国家試験 (ITパスポート) の見直し、高校等での活用促進

リテラシー

学習内容の強化

- 大学の標準カリキュラムの開発と展開 (MOOC※活用等)
- 高校におけるAIの基礎となる実習授業の充実

小中高校における教育環境の整備

- 多様なICT人材の登用 (高校は1校に1人以上、小中校は4校に1人以上)
- 生徒一人一人が端末を持つICT環境整備

トップクラス育成
100人程度/年

2,000人/年

25万人/年

(高校の一部、高専・大学の50%)

50万人/年

(大学・高専卒業生全員)

100万人/年

(高校卒業生全員)

(小中学生全員)

※Massive Open Online Course : 大規模公開オンライン講座

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）概要

AI戦略2019

- すべての大学・高専生（約50万人／年）が初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得
- 大学・高専の正規課程教育のうち、優れた教育プログラムを政府が認定

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の創設について」報告書に基づき、制度設計

種類・主な要件

認定教育プログラム (MDASH-Literacy)*

- 大学、短期大学、高等専門学校の**正規の課程**
- 学生に広く実施される教育プログラム（**全学開講**）
- 具体的な計画の策定、公表
- 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術を体系的に修得（モデルカリキュラム（リテラシーレベル）参照）
- 学生に対し履修を促す取組の実施
- 自己点検・評価（履修率、学修成果、進路等）の実施、公表
- 当該教育プログラムを実施した実績のあること（**人文・社会科学等を含む複数学部等からの履修**）

選定

認定教育プログラム プラス (MDASH-Literacy+)

- 左記認定要件を満たすこと
- 学生の履修率が一定割合以上
全学生の50%以上（3年以内に達成見込みも可）
- 大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること

スケジュール

- **2021年2月24日** 公募開始（申請受付期間：2021年3月17日～2021年5月14日）
 - **2021年7月頃まで** 順次認定・選定
- 以後、毎年度募集

* Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education

数理・データサイエンス・AI教育にコミットする大学・高専を応援！ 多くの大学・高専が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押し！



認定手続き等

- 審査は外部有識者（内閣府・文部科学省・経済産業省が協力して選定）により構成される審査委員会（3府省共同事務局）において実施
- 審査の結果を踏まえ、文部科学大臣が認定・選定
- 取組の横展開を促進するため、3府省が連携して認定・選定された教育プログラムを積極的に広報・普及

やまぐちデジタル改革基本方針（令和3年3月）

《目指すべきデジタル社会のビジョン》

デジタル化がもたらす「地域課題の解決」と「新たな価値の創造」によって、県民一人ひとりが、希望するサービスやライフスタイルを自由に選択でき、豊かさと幸せを実感することのできる社会

《目指すべき将来像》

産業維新

- AIやIoT、5G等の導入が進み、本県の強みであるものづくり産業を中心に生産性が大幅に向上し、労働力不足が解消されるとともに、データ利活用分野等において、新たなサービスが続々と誕生している。
- 中小企業のDXやテレワーク等の導入が進み、経済成長を牽引する中核企業が創出されるなど、中小企業が持続的に発展する基盤が構築されている。
- 農林水産業のスマート化や建設業のDXが進み、生産現場・建設現場の省力化と生産性向上によって、収益の拡大や労働環境の改善が図られ、新たな担い手が数多く参入している。

大交流維新

- ビッグデータを活用したマーケティングやSNS、アプリ等の活用によって、利用者ニーズの的確な把握や、リアルタイムで効果的な情報発信が可能であり、誘客や県産品の販路、海外展開が拡大し、県内経済の活性化が進んでいる。
- 新たなモビリティサービス（MaaS）の広がりによる二次交通の充実が、県外からのビジネス客や観光客の県内移動を誘引し、宿泊の増加や各地域での賑わいを生み出している。
- 県内各地にテレワーカーやワーケーションの受入環境が整備され、都市部からの人の流れが拡大しており、滞在期間の長期化も進み、本県への移住者の増加につながっている。

- AIやアプリ等を活用したきめ細かなサポート体制により、結婚の希望を叶え、安心して妊娠・出産、子育てができる環境が整っており、合計特殊出生率も向上し、若い世代が生き生きと子育てを楽しんでいる。
- 5Gを活用した医療や、ICT・ロボットを活用した介護等の提供体制が整備され、住み慣れた地域で安心して医療や介護サービスを受けることができる。
- 学校における1人1台タブレット端末等のICT環境を活かし、児童生徒一人ひとりに合った学びの充実や、海外の学校等との交流が進んでおり、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けた子どもたちが県内で健やかに育っている。
- 5G、VR（バーチャルリアリティ）等を活用した、新しい美術鑑賞や文化体験のスタイルが広く定着し、県民にとって、文化・芸術の新たな魅力に触れる機会の増加が、生活に潤いをもたらしている。
- AIやドローン等を活用した社会インフラの点検・診断、新たな防災システムの構築などにより、災害に強い県づくりが進み、県民が安心・安全に暮らすことができる。

《目指すべき将来像》

共通

- マイナンバーカードが普及し、カードを使って全ての行政手続きがオンラインでワンストップに行えるほか、口座情報との連携により、災害時はもとより、通常のサービスにおいても、必要なプッシュ型支援を受けることができる。
- 離島や過疎地域を含めた県内全域に、誰もが利用できる高度なブロードバンド環境が整っている。また、UI（ユーザーインターフェイス¹）・UX（ユーザーエクスペリエンス²）が最適化され、高齢者や障害者、デジタル機器に不慣れな方も、手軽にデジタルサービスを利用することができる。
- 県内で多くのデジタル人材が育ち、そうした人材の官民にわたる活躍により、デジタル社会がさらに進化し続けている。

県内他大学の取組状況について

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム (リテラシーレベル)」の認定状況

徳山大学 数理・データサイエンス・AI教育
プログラム

山口大学 「データ科学と社会」

山陽小野田市立山口東京理科大学 「数理・データ
サイエンス・AI教育プログラム」

【参考】 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラ
シーレベル）プラス

認定された教育プログラムの中から、先導的で独自の
工夫・特色を有するものを認定

⇒ 山陽小野田市立山口東京理科大学 「数理・データサイエン
ス・AI教育プログラム」

《特色》 薬工連携による教育、地方自治体との連携による
課題解決型文理融合教育

山口大学

- 情報・データ科学教育センター（2020年度設置）
 - ・2018年度から全国の大学に先駆けて1年次の全学生を対象に、必須の共通教育科目として「データ科学と社会Ⅰ」と「データ科学と社会Ⅱ」を開講
 - ・2021年度から、各学部が定めたデータサイエンス教育レベルに応じて、2年次以降の専門課程において発展・応用科目を開講
- 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター
- AIシステム医学・医療研究教育センター

徳山大学

令和2年5月26日徳山大学「徳山大学の現状と大学改革 および将来像」

- ・福祉情報学部にあるメディア情報専攻は、Society5.0に向かって**情報科学部（仮）**として発展させる
- ・今後、情報科学に関するプログラムや陣容を強化し、山口県で初めての独立した情報科学部（仮）を速やかに立ち上げるための準備を進める
- ・学内では、今後、経済経営学部（仮）と人間健康科学部を開設予定であり、**情報科学部（仮）**はこれらの学部と**データサイエンスをベースとして学部横断的な教育や研究を実施し**、情報科学分野の専門的人材に加えて、情報科学のわかるビジネスパーソンや医療・福祉人財の育成を行う
- ・また、これまで人文社会系大学として限られた分野としか実施できなかった産学連携を、情報科学部が中心となってリードし、地域創生の原動力となる

全国の大学の取組状況について

滋賀大学データサイエンス学部（2017年開設）

横浜市立大学データサイエンス学部（2018年開設）

武蔵野大学データサイエンス学部（2019年開設）

立正大学データサイエンス学部（2021年開設）

県立大学が育てるデジタル人材に関する検討の視点

- どのような分野・役割等で活躍する人材の育成を目指すべきか
 - 現在のデザイン活動との融合など、県内他大学等との機能分担・連携も含めた、県立大学らしい教育研究の可能性
- 等

〔分野〕	ビジネス、健康・福祉・医療、文化、地方創生 等
〔役割〕	・プロジェクトの企画・管理・推進 ・データの分析 ・システム設計・開発、システム実装・運営・保守
〔職種〕	・プロデューサー ・プロジェクトマネージャー ・デザイナー ・エンジニア ・データサイエンティスト 等